

児童生徒の健康づくりのための資料とする	58.6 %
思春期等、発達段階に応じた健康課題についての情報を与える	34.5 %
学校・家庭における継続的な健康管理の資料とする	74.1 %
養護教諭が行なう健康相談活動の資料とする	51.7 %
その他	8.6 %

高等学校では個別の保健資料の資料として使われることが多い。

質問 4-2 どのような形式がよいか（高等学校データ）

1冊の手帳（出生から入学前、小、中、高すべての記載が可能）	22.4 %
母子健康手帳と一緒に保管でき、小学校以降の記載ができる	29.3 %
出生、入学前、小、中、高それぞれが分冊	36.2 %
その他	13.8 %

質問 4-3 手帳の様式について（高等学校データ）

市町村単位で共通の様式のもの	3.4 %
都道府県単位で共通の様式のもの	13.8 %
全国で統一されたもの	15.5 %
学校独自の様式のもの	1.7 %
全国共通のもの + 独自性	60.3 %
その他	1.7 %

質問 4-4 健康手帳は、主に誰が記入すべきか（高等学校データ）

児童生徒（本人）	70.7 %
担任	13.8 %
養護教諭	17.2 %
保護者	3.4 %
その他	10.3 %

質問 4 - 5 健康手帳の保管は誰が行なうべきか (高等学校データ)

児童生徒 (本人)	51.7 %
保護者または家庭 担任	10.3 %
養護教諭	6.9 %
学校	32.8 %
その他	3.4 %
	1.7 %

質問 4 - 6 健康手帳の大きさはどのくらいがよいか (高等学校データ)

A 4	1.7 %
B 5	0.0 %
A 5	44.8 %
B 6	22.4 %
A 6	20.7 %
その他	10.3 %

母子健康手帳の大きさとの意見がみられた。

ちなみに母子健康手帳のサイズは市町村によって異なる。

質問 4 - 7 健康手帳を活用するために工夫が必要な点 (高等学校データ)

他のカード等と重複しないように	36.2 %
記入や保管に際する事務量が多くなるように	65.5 %
児童生徒の発達段階に応じて自身で記入、利用できるように	70.7 %
保健学習や保健指導、総合的な学習の時間に活用できるように	24.1 %
児童生徒のプライバシーに配慮する	75.9 %
その他	5.2 %

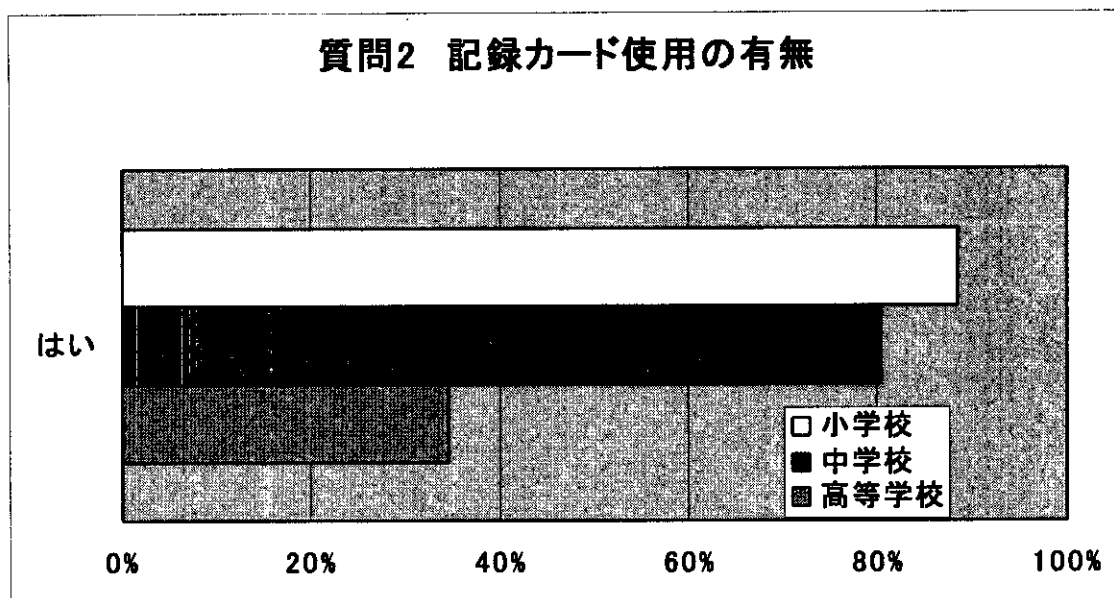
質問 5 あらたな健康手帳を使用したいと思うか (高等学校データ)

はい	58.6 %
いいえ	12.1 %

その他 31.0 %
 内容による
 現行の保健調査票や健康診断票があれば必要ない
 わずらわしい

4) 小学校、中学校、高等学校のデータ比較

質問2 児童の身体の発育・発達、予防接種、健康診断結果等を継続して記録するカード（公簿の健康診断票・歯の検査票は除く）などを使用していますか？

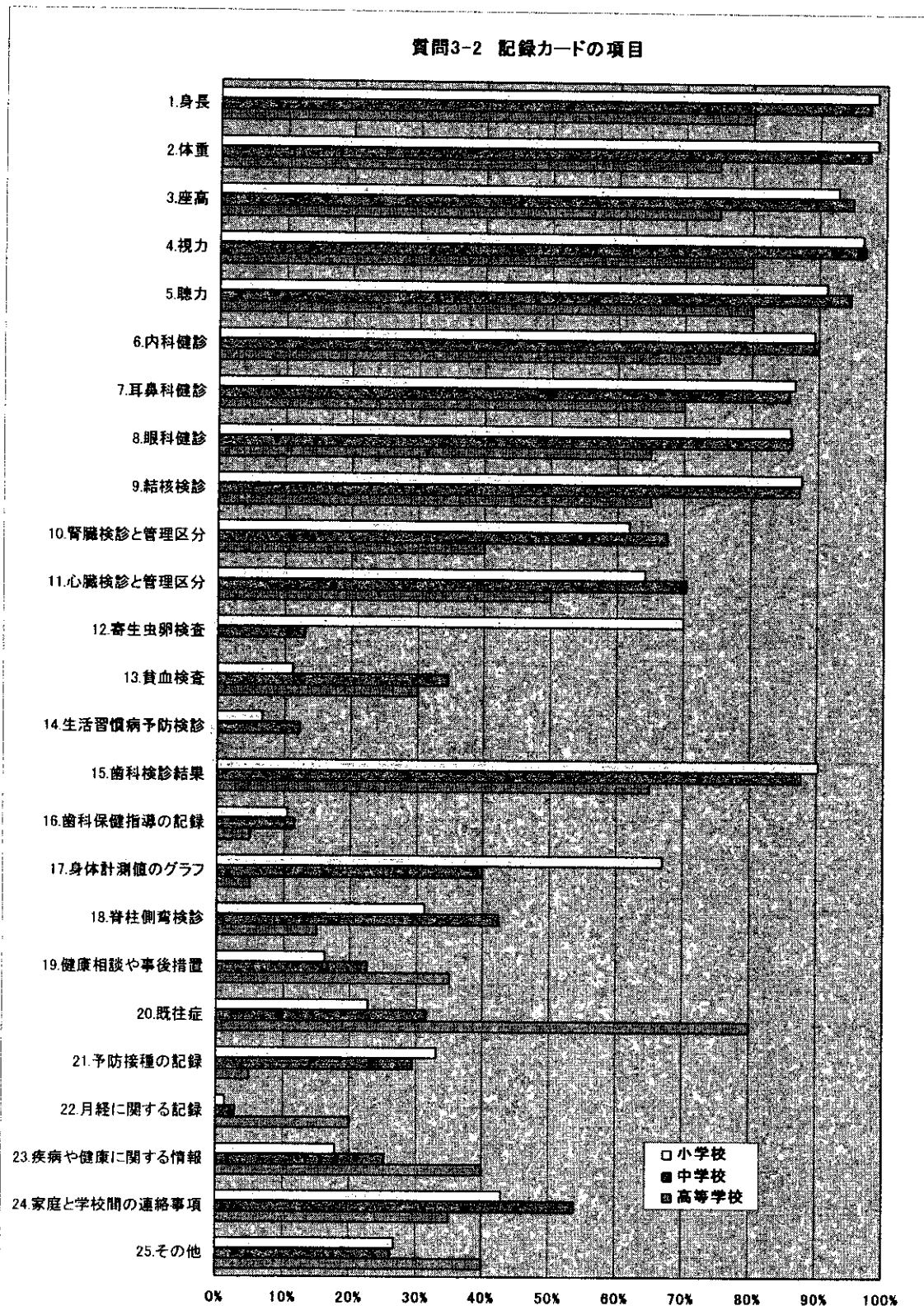


質問2	小学校	中学校	高等学校
はい	88.5%	80.4%	34.5%

コメント

- 義務教育である小学校、中学校では学校側の公簿記録のほかに記録するカードや健康手帳が80%以上の学校で使用されている。
- それに比し高等学校では34.5%の学校にとどまる。

質問3-2 どのような項目が入っていますか？



質問3-2	小学校	中学校	高等学校
1.身長	98.7%	97.5%	80.0%
2.体重	98.7%	97.5%	75.0%
3.座高	92.8%	95.1%	75.0%
4.視力	96.6%	96.8%	80.0%
5.聴力	91.2%	94.7%	80.0%
6.内科健診	89.4%	89.8%	75.0%
7.耳鼻科健診	86.5%	85.6%	70.0%
8.眼科健診	85.9%	86.1%	65.0%
9.結核検診	87.5%	87.3%	65.0%
10.腎臓検診と管理区分	61.9%	67.6%	40.0%
11.心臓検診と管理区分	64.3%	70.4%	50.0%
12.寄生虫卵検査	69.9%	13.0%	0.0%
13.貧血検査	11.2%	34.5%	30.0%
14.生活習慣病予防検診	6.7%	12.3%	0.0%
15.歯科検診結果	90.3%	87.7%	65.0%
16.歯科保健指導の記録	10.5%	11.6%	5.0%
17.身体計測値のグラフ	67.0%	39.6%	5.0%
18.脊柱側弯検診	31.2%	42.4%	15.0%
19.健康相談や事後措置	16.2%	22.5%	35.0%
20.既往症	22.7%	31.5%	80.0%
21.予防接種の記録	33.0%	29.4%	5.0%
22.月経に関する記録	1.4%	2.8%	20.0%
23.疾病や健康に関する情報	17.9%	25.2%	40.0%
24.家庭と学校間の連絡事項	43.0%	53.9%	35.0%
25.その他	26.7%	26.2%	40.0%

コメント

■ 小学校、中学校に記載される項目であるが、高等学校では重要視されない項目

12. 寄生虫卵検査

現在一般にこの検査が行なわれているのは小学校低学年のみ

17. 身体計測値のグラフ

成長期を過ぎた高等学校では数値の記録のみで充分とされる

18. 脊柱側弯検診

この検診も一般に小学校、中学校のみ行なわれている

21. 予防接種の記録

高等学校ではわずか5%にしか過ぎない

■ 高等学校において、より重要視されている項目

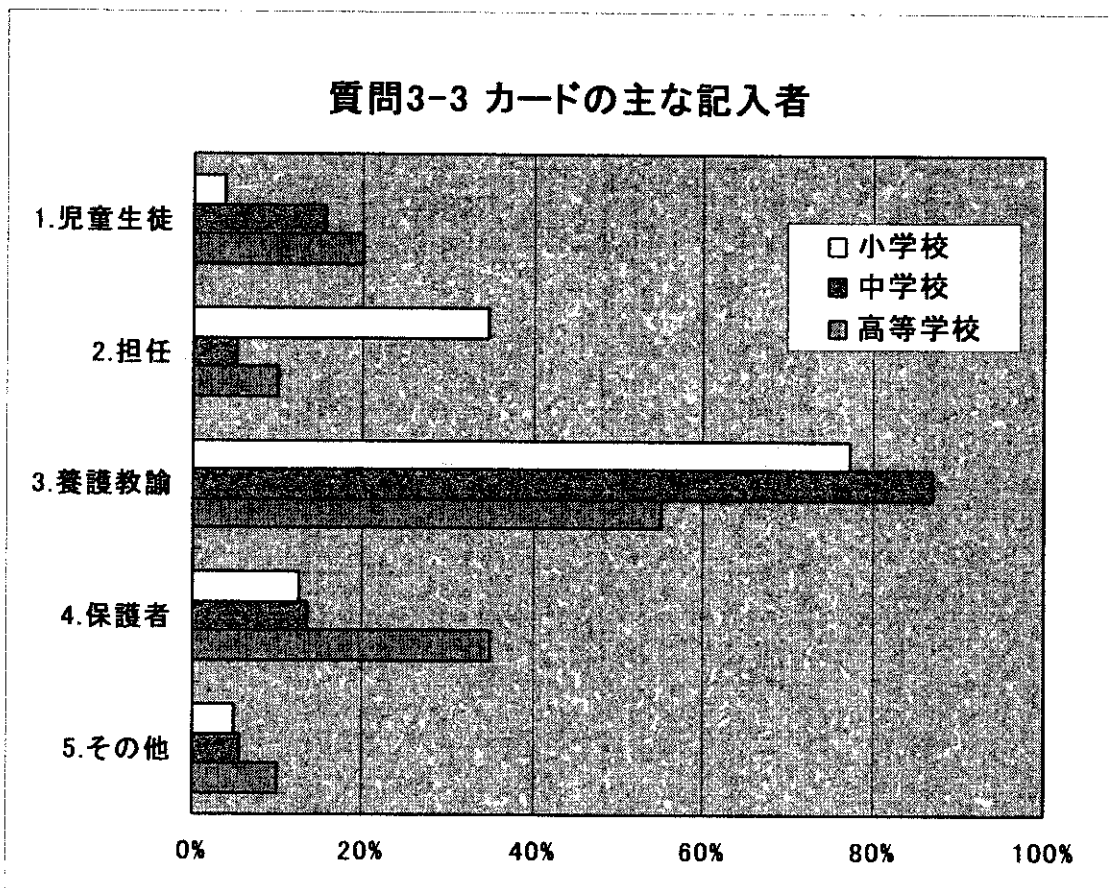
19. 健康相談や事後措置

20. 既往症

22. 月経に関する記録

23. 疾病や健康に関する情報

質問 3-3 記入は、主に誰が行なっていますか。

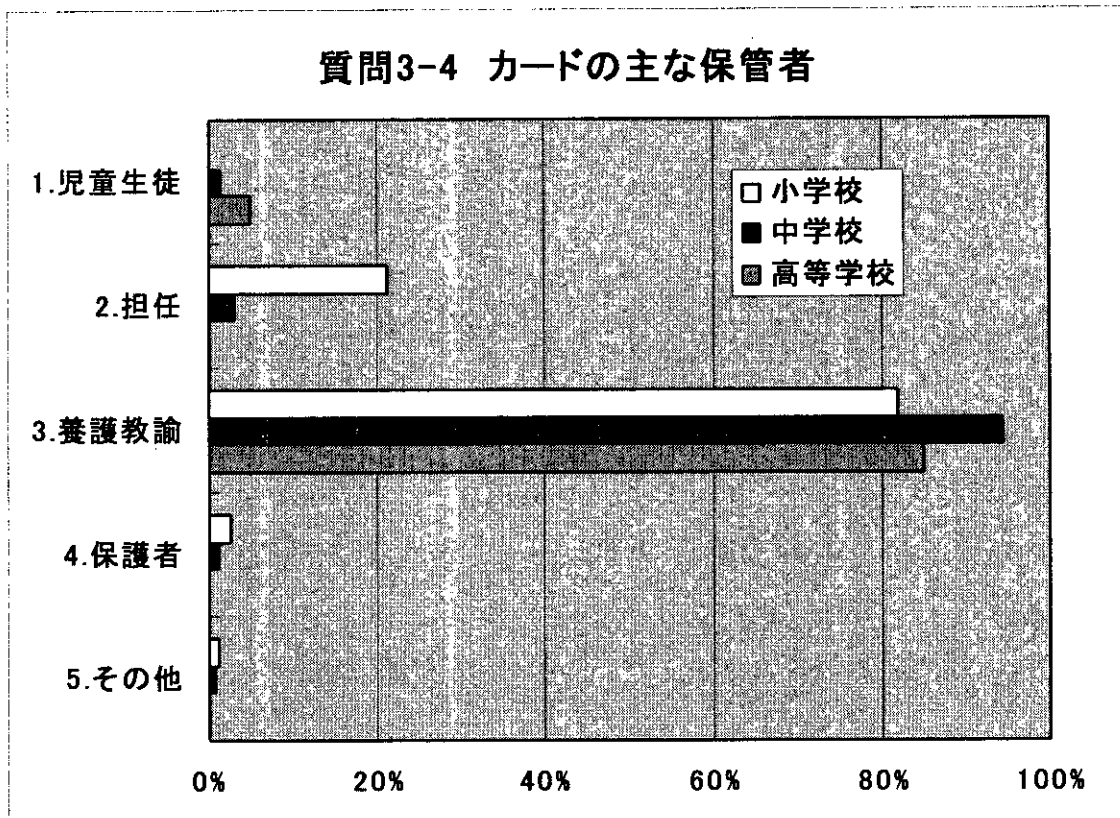


質問3-3	小学校	中学校	高等学校
1.児童生徒	3.6%	15.5%	20.0%
2.担任	34.8%	5.1%	10.0%
3.養護教諭	77.4%	87.0%	55.0%
4.保護者	12.5%	13.4%	35.0%
5.その他	4.8%	5.6%	10.0%

コメント

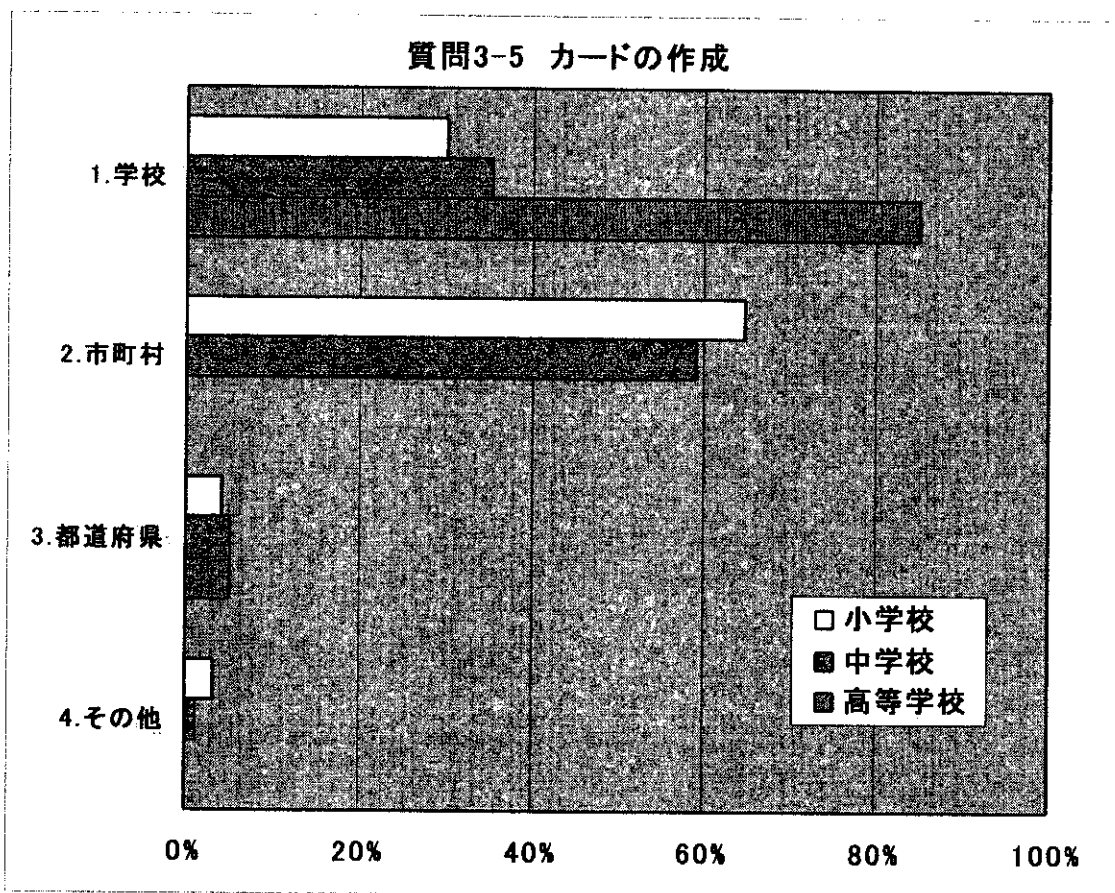
- 小学校、中学校、高等学校とも養護教諭による記入が中心となっている。
- 小学校低学年では担任、成長にしたい本人による記入が多くなっている。
- 保護者による記入は、かえって高等学校に多くみられる。

質問 3-4 保管は、主に誰が行なっていますか。



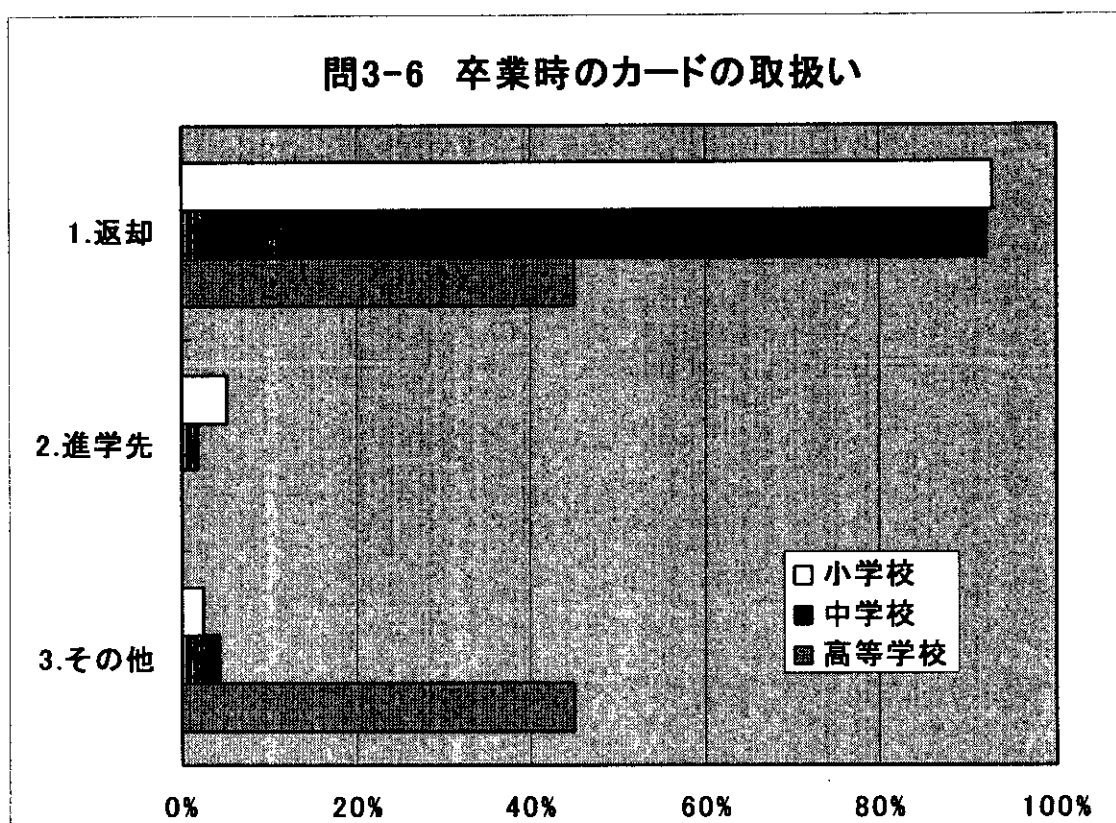
問3-4	高等学校	中学校	小学校
1.児童生徒	5.0%	1.4%	0.2%
2.担任	0.0%	3.0%	21.1%
3.養護教諭	85.0%	94.4%	81.9%
4.保護者	0.0%	1.2%	2.5%
5.その他	0.0%	0.7%	1.1%

質問 3-5 作成は、どこで行ないましたか。



問3-5	小学校	中学校	高等学校
1.学校	30.1%	35.2%	85.0%
2.市町村	64.6%	59.0%	0.0%
3.都道府県	4.2%	4.9%	5.0%
4.その他	3.1%	1.2%	0.0%

質問 3-6 児童生徒の卒業時、カード等はどのようにしていますか？



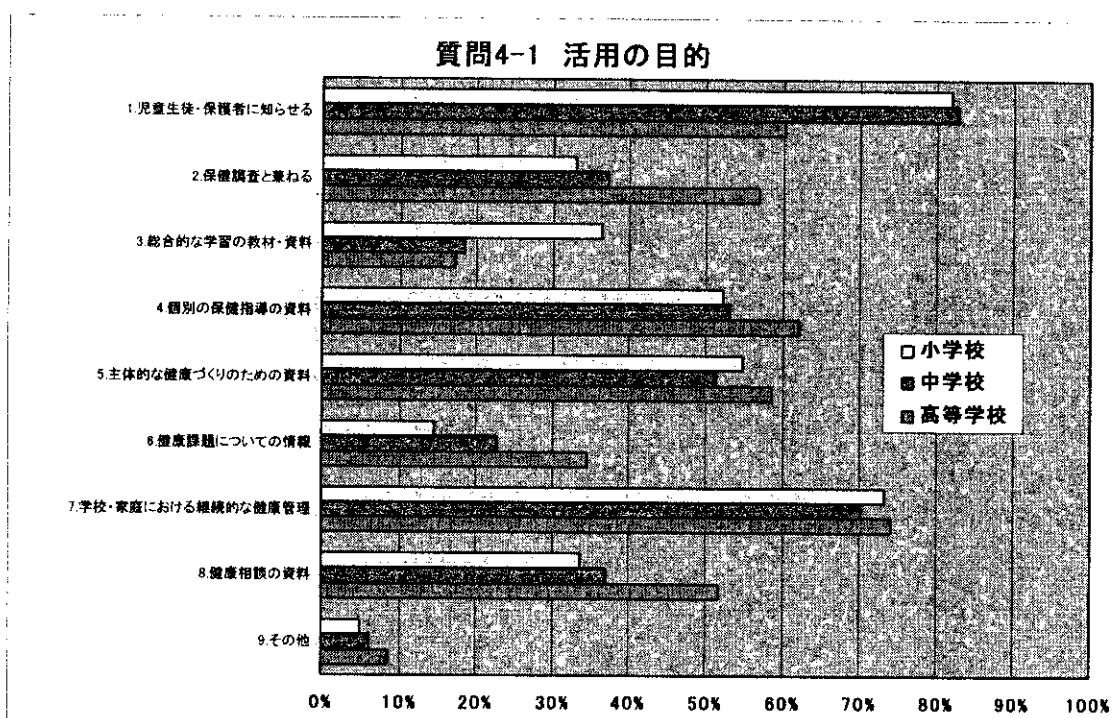
問3-6	小学校	中学校	高等学校
1.返却	92.8%	92.1%	45.0%
2.進学先	5.1%	1.9%	0.0%
3.その他	2.5%	4.2%	45.0%

コメント

- 小学校、中学校とも進学先に送付する以外は主に本人に返却している。
 - 高等学校については、回答数が少なく明確にはわからない。
- その他では、数年間の保存の後、処分と記載されていた。

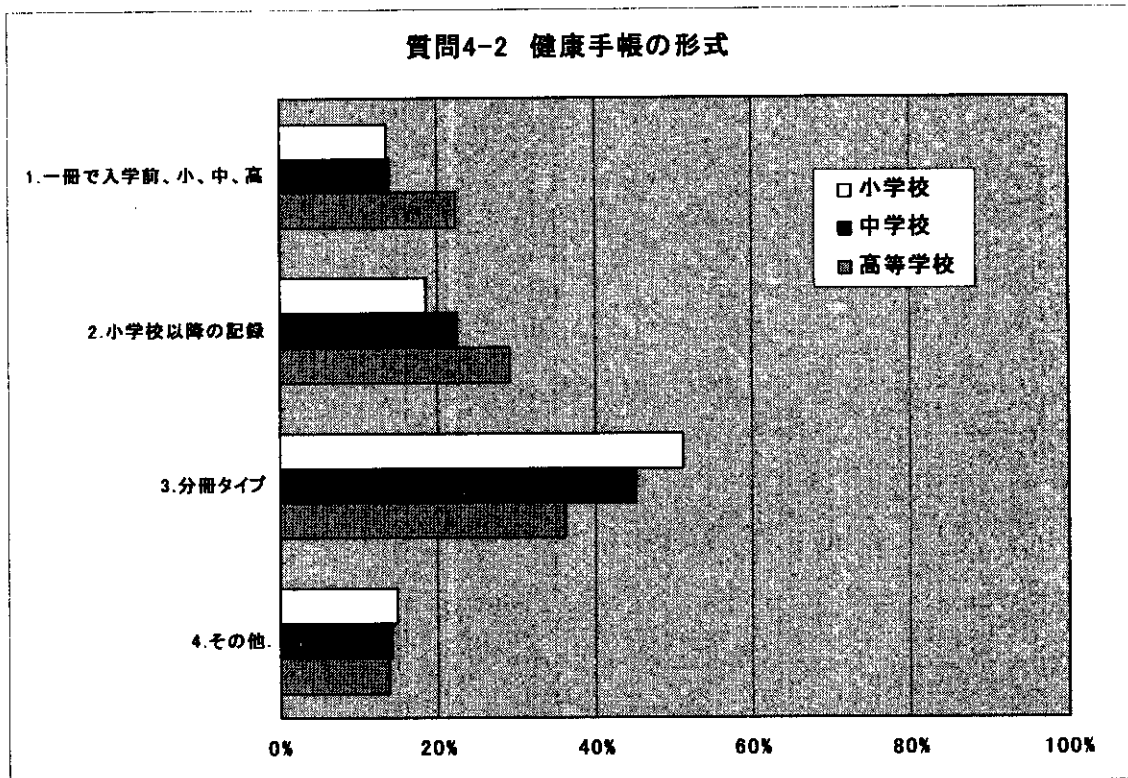
質問4 学校における「健康手帳」をどのような手帳にすべきか

質問4-1 活用の目的として、適切に思うものを選んでください。



質問4-1	小学校	中学校	高等学校
1.児童生徒・保護者に知らせる	81.9%	82.7%	60.3%
2.保健調査と兼ねる	32.9%	37.2%	56.9%
3.総合的な学習の教材・資料	36.3%	18.4%	17.2%
4.個別の保健指導の資料	52.2%	53.1%	62.1%
5.主体的な健康づくりのための資料	54.8%	51.4%	58.6%
6.健康課題についての情報	14.5%	22.7%	34.5%
7.学校・家庭における継続的な健康管理	73.2%	70.2%	74.1%
8.健康相談の資料	33.7%	37.1%	51.7%
9.その他	5.0%	6.1%	8.6%

質問 4-2 どのような形式がよいと思いますか？

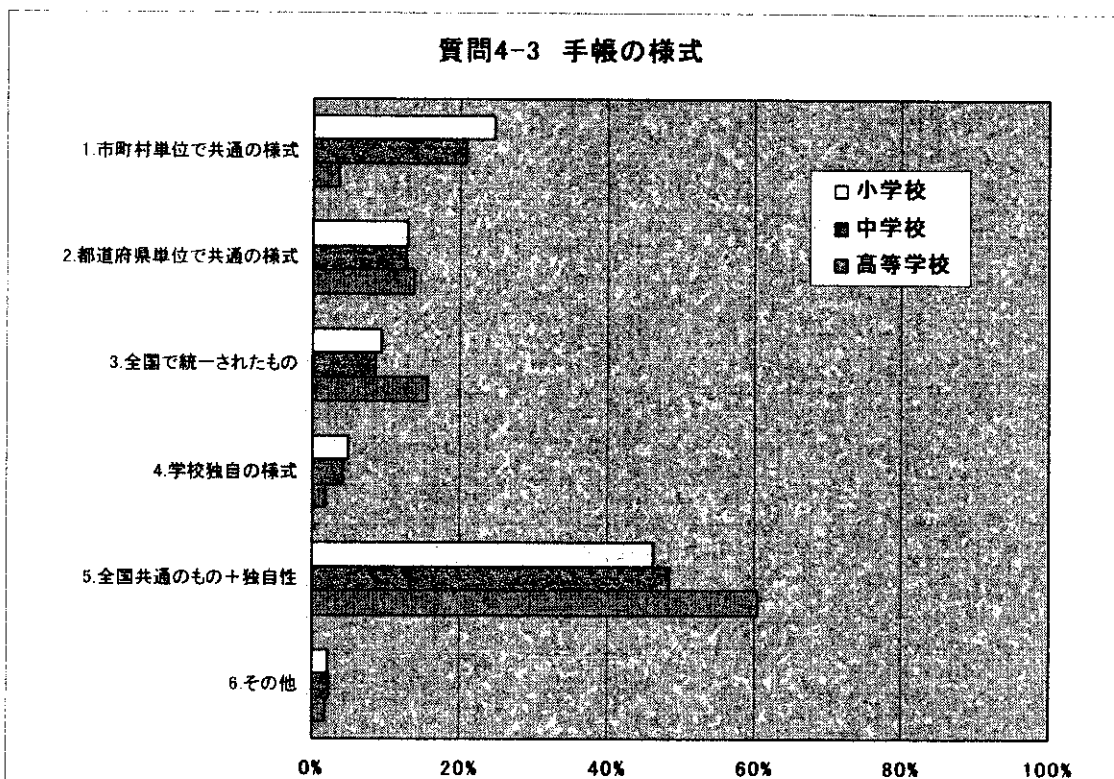


質問4-2	小学校	中学校	高等学校
1.一冊で入学前、小、中、高	13.6%	14.0%	22.4%
2.小学校以降の記録	18.5%	22.5%	29.3%
3.分冊タイプ	51.1%	45.1%	36.2%
4.その他	14.9%	14.2%	13.8%

コメント

■ 小学校から中学校、高等学校となるにしたがい、連続した健康情報の記録を必要としている。そして分冊タイプよりも一体型が望まれている。

質問 4-3 手帳の様式は、市町村、都道府県、国等で共通の様式と、学校独自の様式とどちらがよいと思いますか？

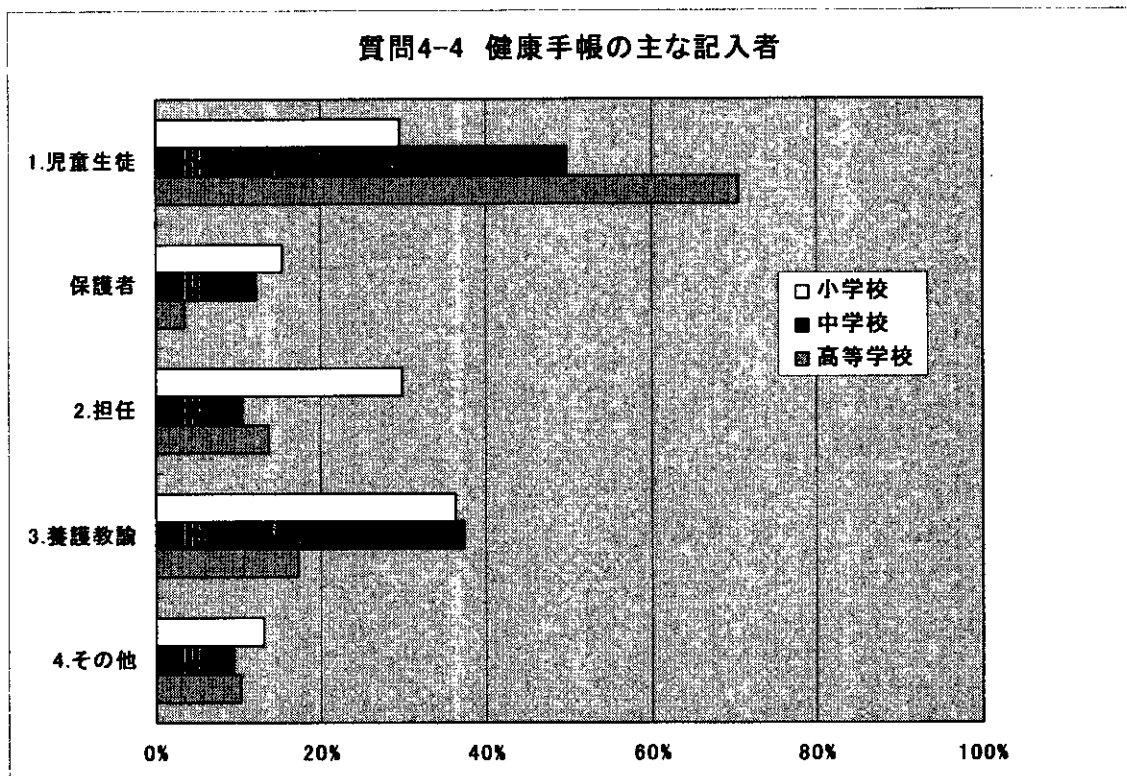


質問4-3	小学校	中学校	高等学校
1.市町村単位で共通の様式	24.6%	20.7%	3.4%
2.都道府県単位で共通の様式	12.8%	12.7%	13.8%
3.全国で統一されたもの	9.4%	8.6%	15.5%
4.学校独自の様式	4.8%	4.1%	1.7%
5.全国共通のもの+独自性	46.3%	48.4%	60.3%
6.その他	2.1%	2.4%	1.7%

コメント

- 転入や転出のことを考慮すると、全国统一のものが望ましい。
- 地域の特性などもあるため、「必要最低限の共通な様式+独自性」が希望される。

質問 4-4 健康手帳は、主に誰が記入したらよいと思いますか。

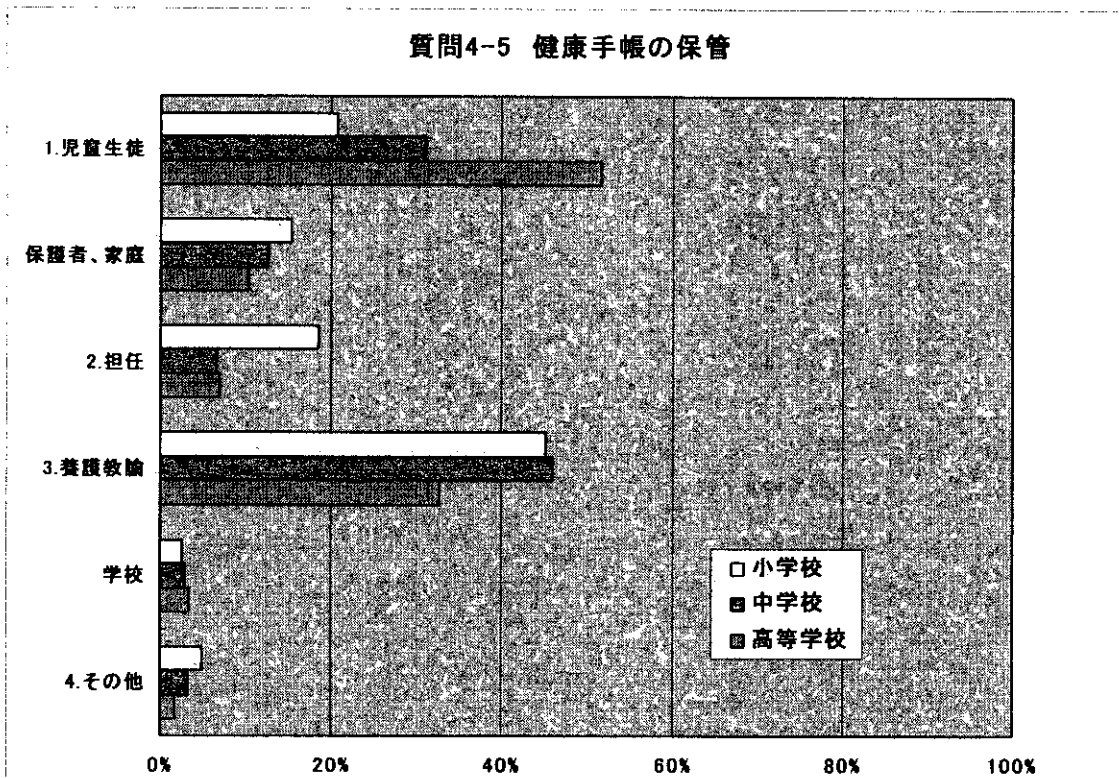


質問4-4	小学校	中学校	高等学校
1.児童生徒	29.6%	49.9%	70.7%
保護者	15.2%	12.1%	3.4%
2.担任	29.9%	10.4%	13.8%
3.養護教諭	36.3%	37.4%	17.2%
4.その他	13.1%	9.3%	10.3%

コメント

- 小学校、特に低学年では担任、養護教諭、保護者による記載が望ましい。
- 中学校、高等学校になるにつれて児童生徒（本人）による記載にすべき。

質問 4-5 健康手帳の保管は、主に誰が行なうのがよいと思いますか。

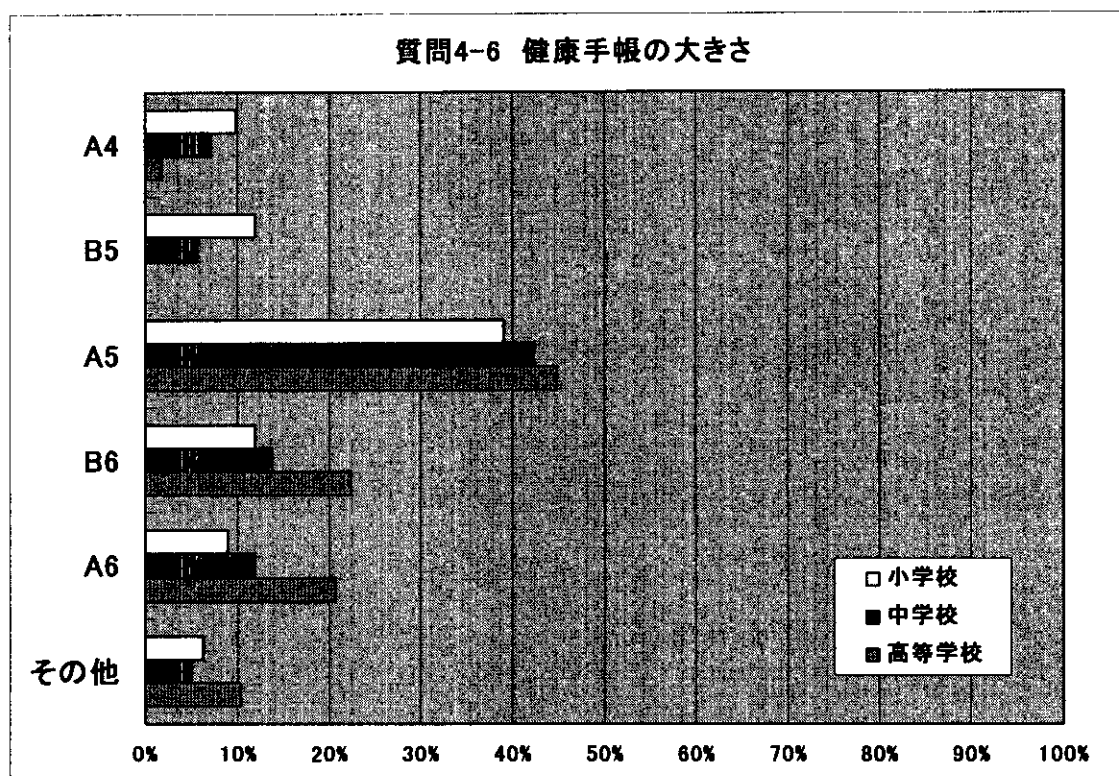


質問4-5	小学校	中学校	高等学校
1.児童生徒	20.6%	31.1%	51.7%
保護者、家庭	15.3%	12.5%	10.3%
2.担任	18.4%	6.5%	6.9%
3.養護教諭	45.2%	46.0%	32.8%
学校	2.6%	2.8%	3.4%
4.その他	4.8%	3.2%	1.7%

コメント

- 学年が上になるほど児童生徒（本人）による保管が望ましいとされる。
- 紛失するおそれがあるため、学校や担任による管理もありうる。
- 本人、家庭以外の管理では、プライバシーの確保を配慮する必要がある。

質問 4-6 健康手帳の大きさは、どのくらいが適切だと思いますか。

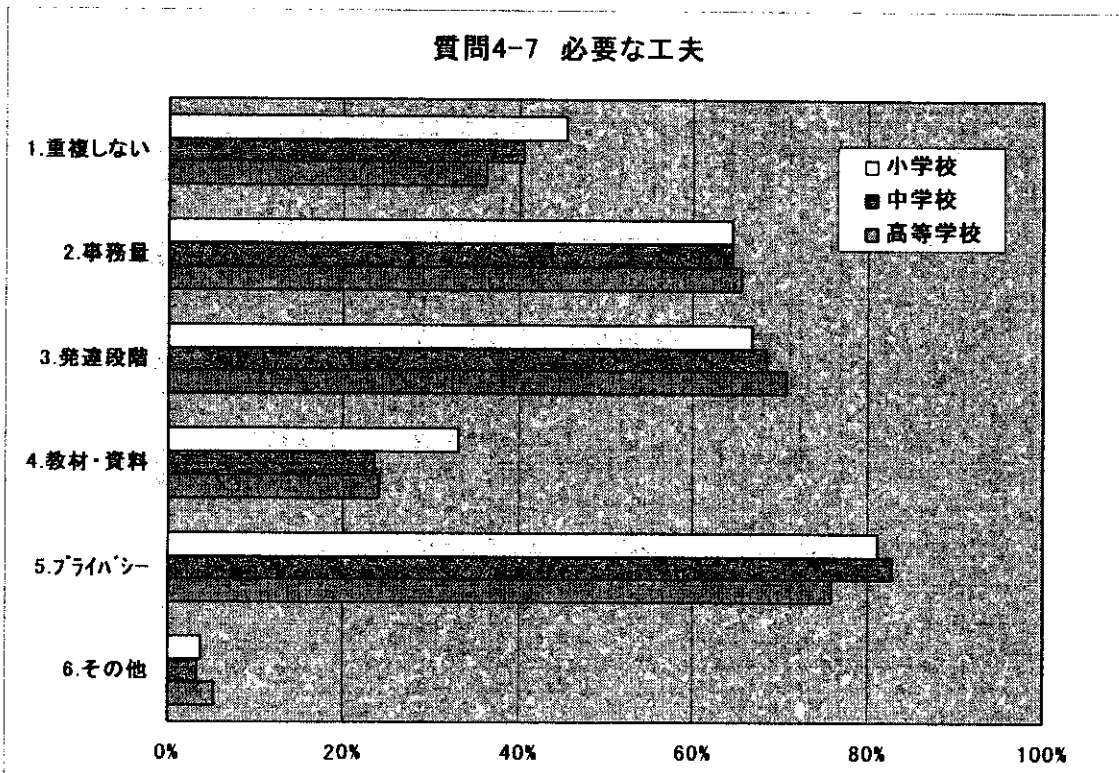


質問4-6	小学校	中学校	高等学校
A4	9.9%	7.1%	1.7%
B5	11.8%	5.6%	0.0%
A5	39.0%	42.3%	44.8%
B6	11.8%	13.8%	22.4%
A6	8.9%	11.9%	20.7%
その他	6.2%	5.0%	10.3%

コメント

- A5もしくはさらに小型コンパクトな大きさが望まれている。
- 母子健康手帳と同じサイズ、もしくは母子健康手帳が挟み込める大きさとの意見がみられた。
- 一方で、B4さらにA3サイズの意見もみられた。

質問 4-7 健康手帳を活用するために工夫が必要な点について

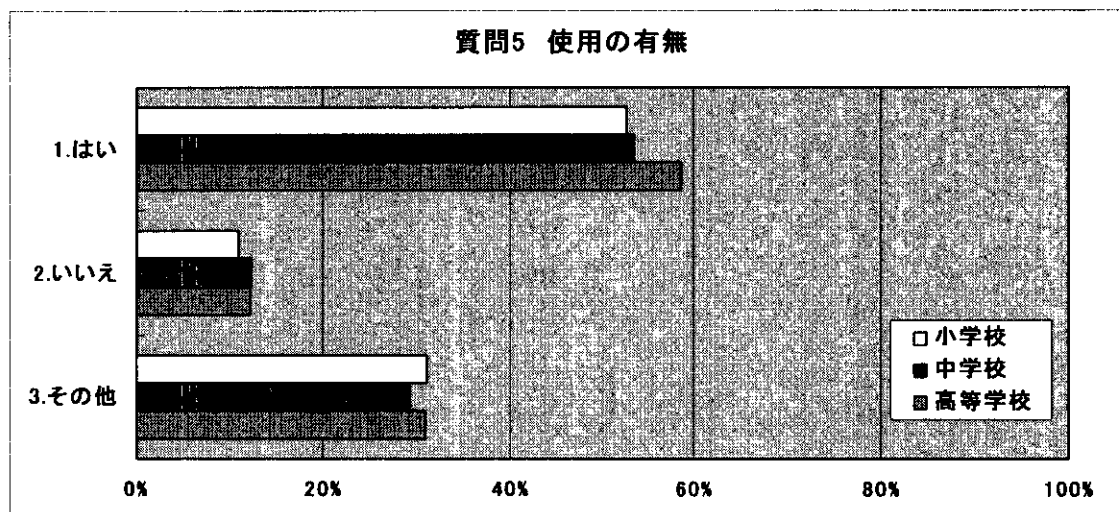


質問4-7	高等学校	中学校	小学校
1.重複しない	36.2%	40.6%	45.4%
2.事務量が多くならないよう	65.5%	64.6%	64.5%
3.発達段階に応じて自分で記入	70.7%	68.5%	66.8%
4.教材・資料として活用	24.1%	23.5%	33.1%
5.プライバシーに配慮	75.9%	82.9%	81.2%
6.その他	5.2%	3.2%	3.7%

コメント

- 小学校、中学校、高等学校を通して同じような意見である。
- 高等学校では、より教材としての活用が望まれている。

質問5 今後、健康手帳ができた場合、使用したいと思いますか。



質問5	小学校	中学校	高等学校
1.はい	52.7%	53.4%	58.6%
2.いいえ	10.9%	12.3%	12.1%
3.その他	31.2%	29.2%	31.0%

コメント

- 肯定的な意見が多かったが、現行の健康手帳もしくは健康カードで充分との意見

も多くみられた。

- できあがった内容をみた上で判断したいとの意見も多い。
- 健康手帳は必要ないとの意見もある。

質問6 健康手帳についての意見

全国から663の意見をいただいた。建設的なもの、批判的なもの、期待、これまでの健康手帳の問題点、どうあるべきかなど、養護教諭の先生方がそれぞれ持たれている意見を大切に役立てるためにも、200あまりの意見に整理し、この報告書に載せた。これらに目を通すことにより、今後の健康手帳のあり方が見えてくるものと期待する。

小学校のアンケートから

6年間使用する場合、それだけ耐久性のあるもので安価なものだとありがたいです。
品川区は健康診断の結果をコンピューター処理していますのでそれが活用できるものが良い
生涯にわたり健康の状態を記録できる台東区方式の健康手帳は大変良いと思うし必要とも思いますが全校の児童数が多く、1クラスの児童数の多い本校においては内容の多いものは使用管理がむずかしい。プライバシー保護の面からも心配がある
成長段階に合わせ各時期に分冊できるようなものがあれば便利かも。厚いと持ち運びや保管にこまるので薄いほうが使いやすいと思う。
出生～高校、全ての記録ができることはとても意味のあることだと思いますが家庭における保管のことが気がかりです。活用するにはきちんと保管して、いつでも資料として取り出せることが必要だと思います。
現在使用しているものは6年間使えるのだがあまり賛成できない。例えば寄生虫の欄にぎょう虫に○がつくと6年間それが残り、子供にとって気持ちのいいものではない。よく使う身長・体重・視力については1枚のカードがよい。指導資料はカード形式よりも冊子の法が良い。そして使用する時期を低・中・高学年用と明記してほしい。記録も大切だと思うが子供達がより健康な生活に目を向けていけるようなそして自分の成長がわかり喜びの持てる健康手帳であってほしい
母子手帳はプライバシーの部分が多いので学校で記入したり、保管はできないと思う。母子手帳に高校卒業くらいまでの健康記録を転記し活用できるようにすることは賛成ですが本人または保護者が記載するようにすべき
大いに賛成。児童生徒、担任、養護、保護者それぞれの立場で参考になり活用できるものがあれば使用したい。全国形式統一が望ましい(転校等)。
生涯を通じた健康づくりに役立つものとして学童期での特徴を捉えた内容、子供達が正確・学習に役立っていけるもの。学校保健会委員会でも健康課題が解決できるような、内容・利用をいうことになり見直していこうと思っているところです。
どの年齢から記入するかにより、記入者・形式等色々変化すると思うのでイメージできない。活用方法が具体的に思いつかない。長期の使用になれば保管が困難

<p>出生から小中学校と継続すれば長年の使用になり、項目追加、変更可能なように考慮が必要。母子手帳と同一サイズなら家庭での保管もしやすい</p>
<p>学校保健はもとより厚生行政の施策と変化があるかと思えます。その変化にも対応できるような市町村単位での作成が良いと思えます。</p>
<p>健康手帳は一年間の記録だけではなく継続して使用できるものの方がいいと思えます。児童生徒が自ら記入し活用したいとき使用できるよう保管も個人でできるように心臓病手帳等もっている人はそれも保管できるように。ビニール袋にポケットをつける、ファイル形式にする等お願いします</p>
<p>子供たちが主体的に健康づくりができる専用ガイドブックがほしいと思っていましたので手帳の主旨については大賛成です。内容・記入方法・保管については配慮したい点がある。個人情報の保護。自校で使用する場合現在使用しているカードを生かし過程に通知の際、家庭でこの手帳に転記してもらう</p>
<p>生涯、自分の健康は自分で守るという考え方を浸透させるには活用を学校のみでなく医療機関や保健所などでもするようなシステムにしないと使用期間が長いだけに紛失・未記入ということが出てきて十分に活用できないことが考えられる。情報が蓄積されるにつれ学校で活用する際のプライバシーの保護をどうするかが課題</p>
<p>現在使用したものはほとんど担任が保管し健診測定が終了したら家に持ち帰る程度の利用率で活用があまりできていない。家庭保管となるとなかなか管理が悪く新学期に回収することが多い。プライバシー保護の意味から母子手帳と一緒にしたものは反対です。</p>
<p>全国統一する必要は感じない。「健康」は管理する・・・というより各個人が手に入れるものである。管理の使用目的が強すぎるのはどうかと思う。</p>
<p>内容によって主な記入者や保管は誰が行うかで変わってくると思えます。もしこのような手帳ができたとしても良いと思えますが実際には記入の事務的な問題があると思えます。内容の濃いものにすればするほど記入するのに手間がかかってしまうとなると学校では難しいとも思えます。</p>
<p>入学前から小中高とその子の成長が分かるものがあると、健康相談個別の指導もでき、個に応じた対応ができると思えます。また自分の身体、自分の健康を自分で守り、精進できるように自分の健康を振り返りたい。活用できるようなものを望みます。お願いします。</p>
<p>学校の保健カードどころか母子手帳まで紛失してしまうような保護者もなかにはいるので存在感と重要性をアピールできる内容のものであればよいのではないのでしょうか。学校記入部分と保護者の記録部分があり、自己管理ができるような年代になれば自己記入、ということでは良いのではないかと思います。</p>
<p>健康の記録を記入する目的で使用しています。現在使用しているものは保健指導の内容を読むページがたくさんありますがそれらについては他の機会に資料を配布しながら指導しています。必要なページを記入する際にそのページは無いほうがやりやすいと感じることが良くあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・肥満度判定曲線のように長い目でみて、身体発育や肥満度の変化をみることができ資料もつけるとよいと思えます。 ・欠席の記録をするのは事務的には大変ですが病気の記録としても心の健康の資料としても大変役に立つと思えます。 ・プライバシーを考えると病気の記録については強調しすぎないほうがよいと思えます。 ・白紙ページがあると学校独自で活用しやすいです。

<p>・生涯、健康状態を記録し、色々な場面で参考となる手帳があれば大変有効だと思う。ただ、あくまで管理や記入については保護者や本人が責任を持って行うべきだと思います。あくまで管理や記入については保護者や本人が責任を持って行うべきだと思います。手帳の常時保管については学校で行うのは問題が出てくると思います。</p> <p>・小学校卒業ぐらいまでは母子手帳の予防接種の記録等必要なので母子手帳を小学校までは必要なんだという意識付けをする意味で充実したものにしてはどうでしょうか</p>
<p>生涯を通して自分の健康状態、身体を知る上で宝物となるような手帳であれば良いと思います。丈夫でしっかり保存されるような材質であれば更に良いと思います。</p>
<p>定期健康診断の結果や病院受診の結果も記入し手帳を見れば身体の状態がわかるカルテのように活用できればと思います。</p>
<p>児童に自分の成長を確認させたり継続的な健康管理の資料に使えるよう、特に小中は継続して使える形が良いと思う。また転入生などのいろんな健康カードをみるが形式を最低限そろえていただけるとそのカードを継続的に使えてよいと思う。</p>
<p>結核検診が改正になり、生活習慣病の管理も重要。インフォームドコンセントも大切にする時代ですので、大切な情報は整理して必要時にはスムーズに提示できる。と判断が心身にとって一番良い方法で治療なり経過観察ができるように利用できると良い</p>
<p>・かつて健康手帳が多くの学校で作られたが冊子では使いにくいいためカードの2つ折形式が一般的となった経緯がある。</p> <p>・一冊の手帳に多くの健康情報を盛り込むことは、その取扱い・保管に大変な責任が生じる。学校は他児童・生徒の目に容易に触れる可能性がある。集団検診なのだから。また児童は家庭に持ち帰らせた時に失くしてしまうことが珍しくない。プライバシーの塊である手帳をきわめて無防備な学校という場で保管はできないしすべきではない。</p> <p>・手帳は必要ページを開くのが手間で非効率的であり、絶対やめてほしい。</p> <p>・年々多忙化する学校で健康カードが「手帳」にされてしまうことはたまらない！健康手帳（昨今はまずない。カードであるが）を見た。</p> <p>・項目ページ数の多いものは結局のところ使いきれず空欄が目立つ。</p> <p>・手帳となれば保管場所が現在の数倍スペース必要。</p> <p>・本校では学校からの受診に必要な情報は別紙に書いてもらっている（6年間使用、年1回家庭へ戻して記入してもらう）</p> <p>・健康カードと別なので子供の目に触れることなくプライバシーも守られる。</p> <p>・台東区のように（もし作るとすれば）家庭で保管・記入すべきである。</p>
<p>1度はその子の全てがわかるものができた方が怖いです。プライバシーにも関わります。現代の子供達は家庭環境が複雑な子が大変多く、今のように学校がかわるたびに新しいものを使用した方が良い面が多々あります。健康手帳は必要と私は考えます。</p>
<p>台東区のような活用法であればよいと思う。現行の学校から渡される「健康の記録」から家庭で手帳に転記・保管し学校では相談、指導が必要な時連絡帳のようにやりとりしたり学習の資料として活用できると良い。</p>
<p>卒業をするとすぐに捨ててしまうご家庭もあるようで卒業して何年も経つのに結核検診の結果の問合せ等がある。大切なものであるとの意識が持てるようにする必要を感じている。養護教諭も異動するので（保護者の中にも母子手帳はいつまで持っていればいいのかとの問合せもあった。）家庭と学校を行き来するものなので丈夫で保管しやすいものにし</p>